

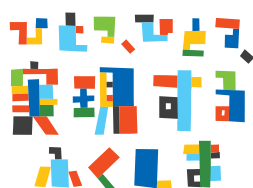
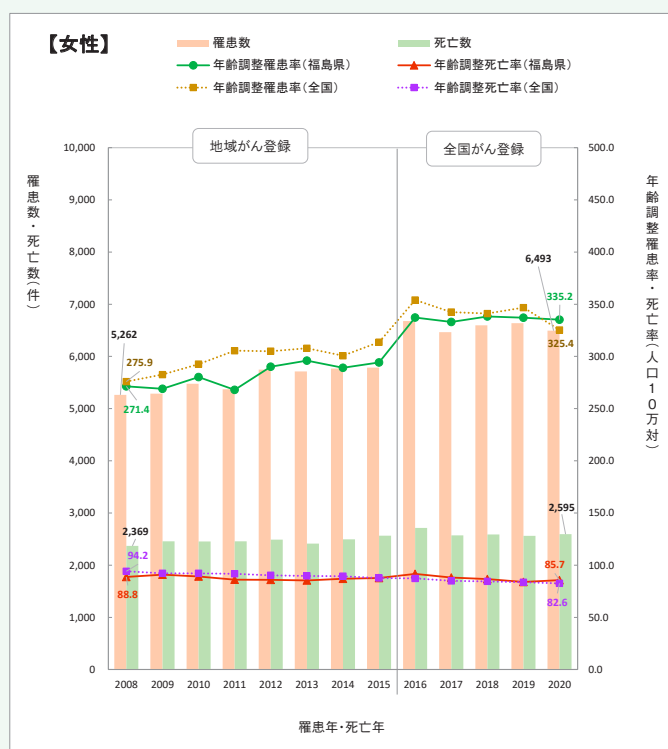
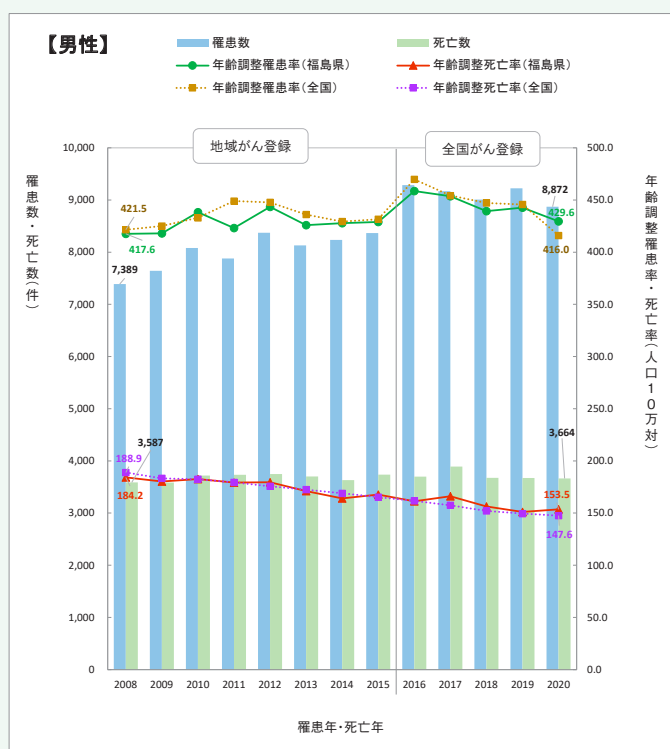
福島県のがん登録〔2020〕

【概要版】

このリーフレットは、2020 年診断症例等をまとめた報告書「福島県のがん登録〔2020〕」の概要版です。
 上皮内がんは含んでおりません。
 詳細は、福島県ホームページをご覧ください。

■福島県のがん罹患・死亡の年次推移

- 福島県においてがん罹患情報の収集・登録が始まった 2008(平成 20)年以来の推移をまとめています。
- 2015 年までは地域がん登録(任意届出)、2016 年以降は全国がん登録(法律に基づく届出)のため、登録数に開きがあることにご留意ください。
- 年齢調整罹患率、年齢調整死亡率の基準人口は、昭和 60 年モデル人口(昭和 60 年国勢調査人口を基に補正した人口)を使用しています。



2025(令和 7)年 3 月 発行

編集: 公立大学法人福島県立医科大学

放射線医学県民健康管理センター がん登録室

発行: 福島県保健福祉部地域医療課

〒960-8670 福島市杉妻町 2 番 16 号

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045c/gan-touroku-jigyoku.html>



■罹患数、部位別割合

●2020(令和2)年の罹患数

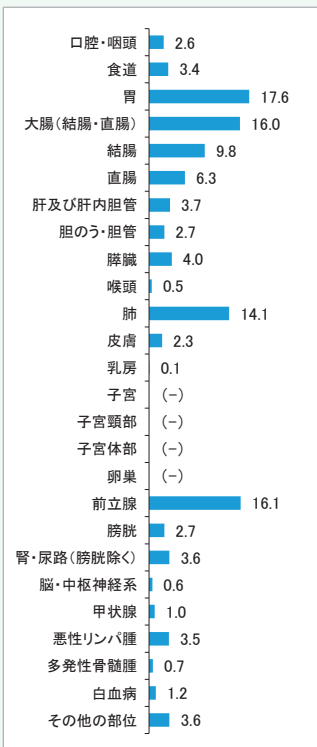
男性：8,872 件
女性：6,493 件
総数：15,365 件

●罹患数の多い部位

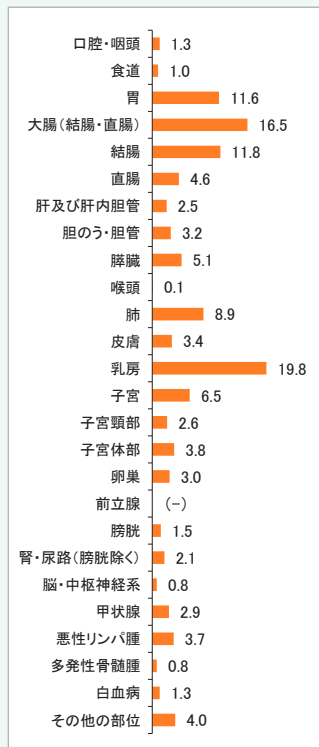
男性：胃、前立腺、大腸(結腸・直腸)、肺
女性：乳房、大腸(結腸・直腸)、胃

●部位別割合(%)

【男性】



【女性】



■死亡数、部位別割合

●2020(令和2)年の死亡数

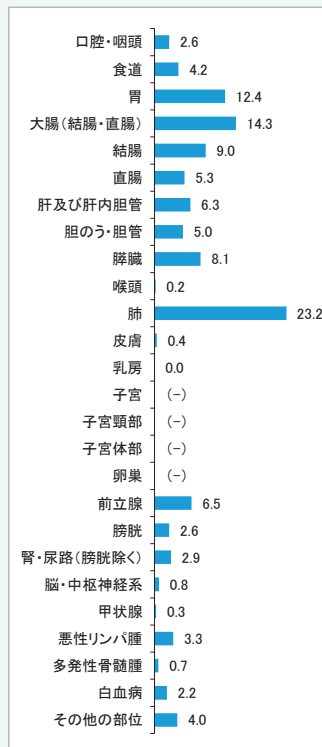
男性：3,664 人
女性：2,595 人
総数：6,259 人

●死亡数の多い部位

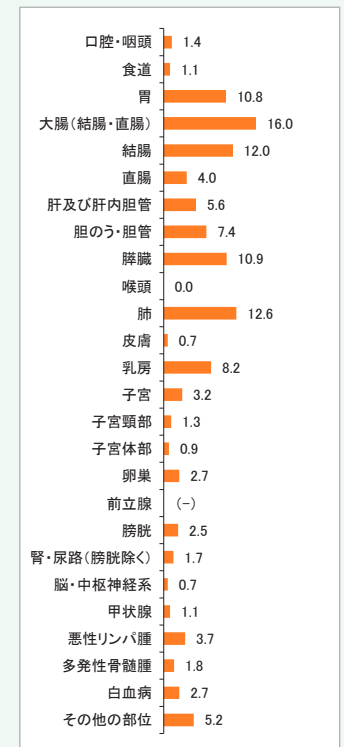
男性：肺、大腸(結腸・直腸)、胃
女性：大腸(結腸・直腸)、肺、膵臓

●部位別割合(%)

【男性】



【女性】

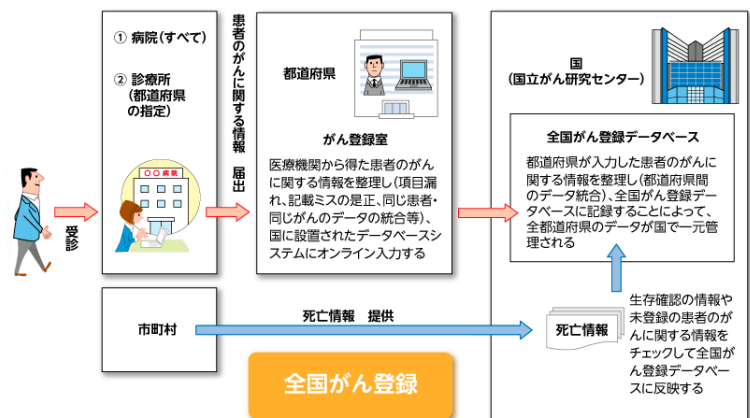


全国がん登録とは

「全国がん登録」とは、日本でがんと診断されたすべての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する新しい仕組みです。

この制度は、がん登録等の推進に関する法律に基づき、2016年1月に始まりました。

「全国がん登録」制度により、居住地域にかかわらず全国どこでも医療機関で診断を受けても、がんと診断された人のデータは都道府県に設置された「がん登録室」を通じて集められ、国のデータベースで一元管理されています。



*国立研究開発法人国立がん研究センター がん情報サービス より引用

■年齢調整罹患率（人口10万対）、部位別

⇒年齢構成の違いを反映し、罹患の傾向を示す

●2020(令和2)年の年齢調整罹患率

男性：429.6（全国は416.0）

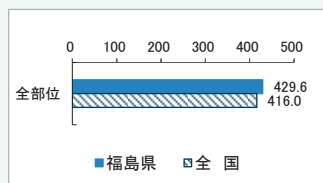
女性：335.2（全国は325.4）

●年齢調整罹患率が高い部位

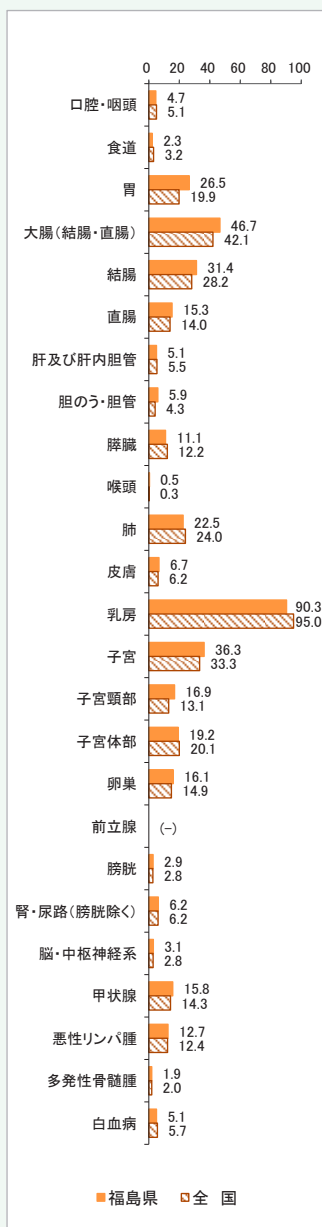
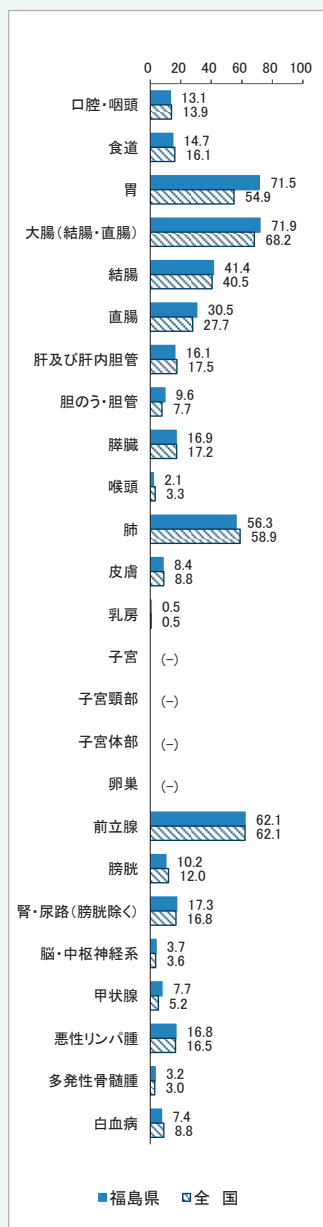
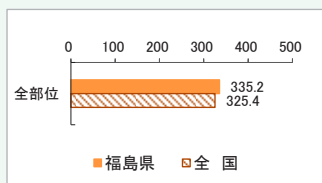
男性：大腸（結腸・直腸）、胃、前立腺、肺

女性：乳房、大腸（結腸・直腸）、子宮

【男性】



【女性】



■年齢調整死亡率（人口10万対）、部位別

⇒年齢構成の違いを反映し、死亡の傾向を示す

●2020(令和2)年の年齢調整死亡率

男性：153.5（全国は147.6）

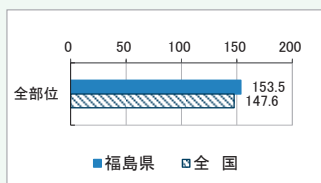
女性：85.7（全国は82.6）

●年齢調整死亡率が高い部位

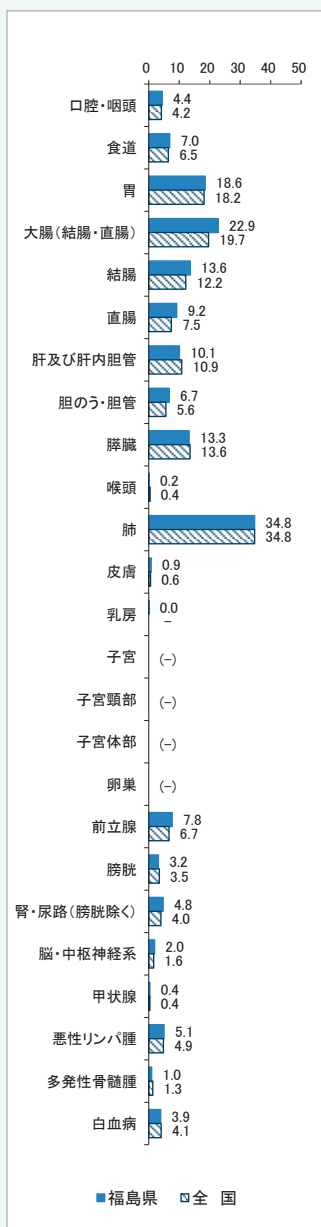
男性：肺、大腸（結腸・直腸）、胃

女性：大腸（結腸・直腸）、乳房、肺

【男性】



【女性】

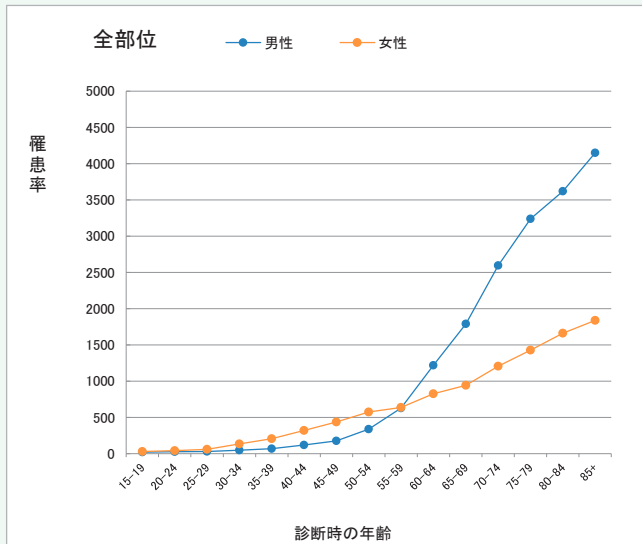


*全国値:厚生労働省「令和2年 全国がん登録罹患数・率 報告」より引用

*全国値:国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(厚生労働省人口動態統計)より引用

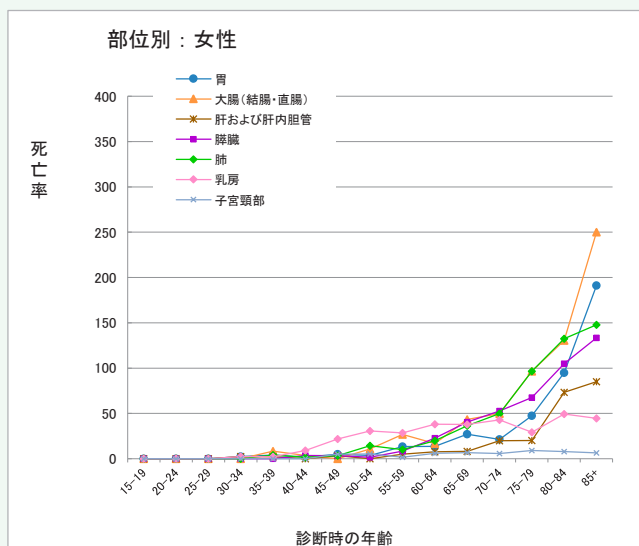
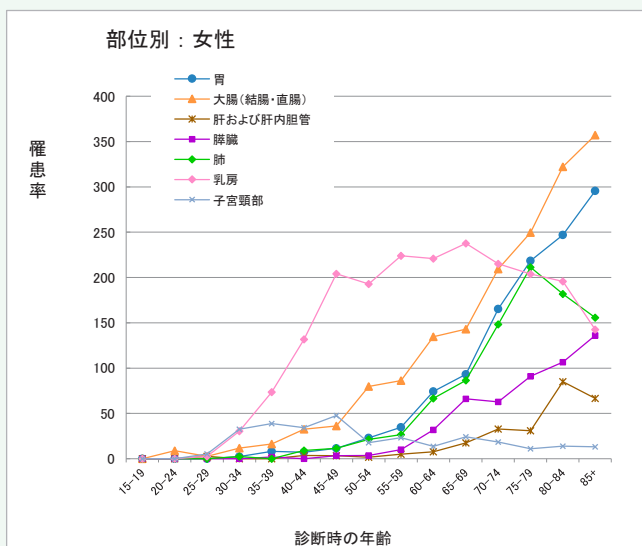
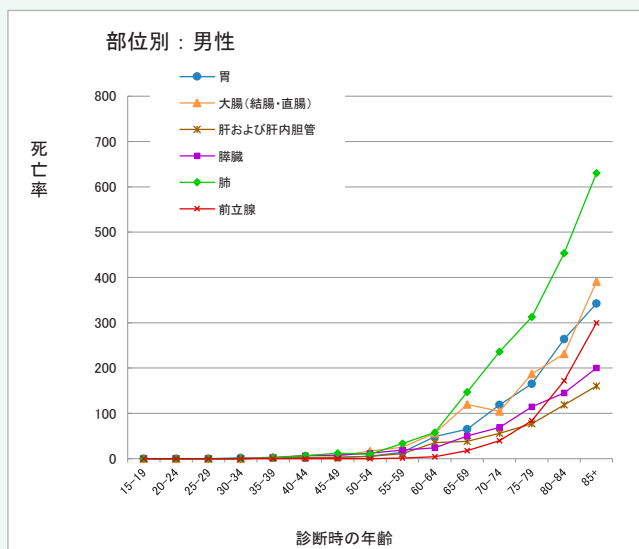
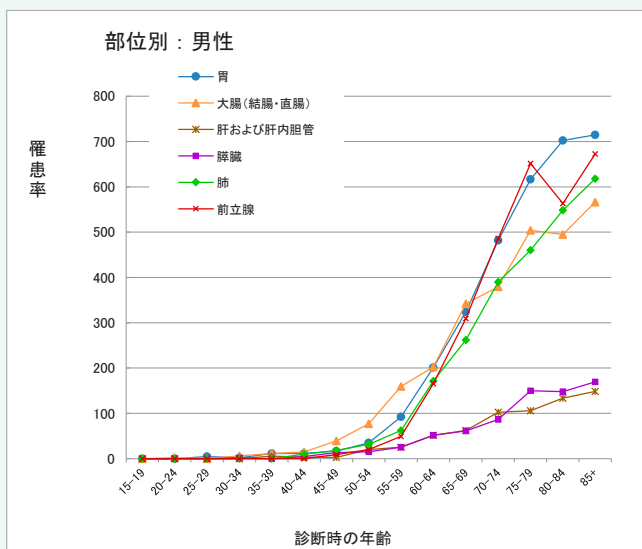
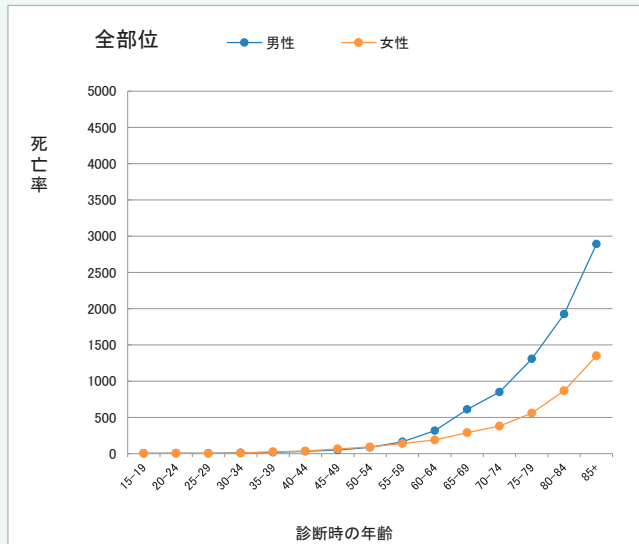
■年齢階級別罹患率（人口 10 万対）、部位別

- 年齢階級別罹患率は、50 歳代前半までは女性が高いが、男性は 60 歳以上で逆転し増加率が高くなる。
- 男女とも加齢とともに増加傾向にあるが、女性の乳がん及び子宮頸がんは、若い年齢において高い。



■年齢階級別死亡率（人口 10 万対）、部位別

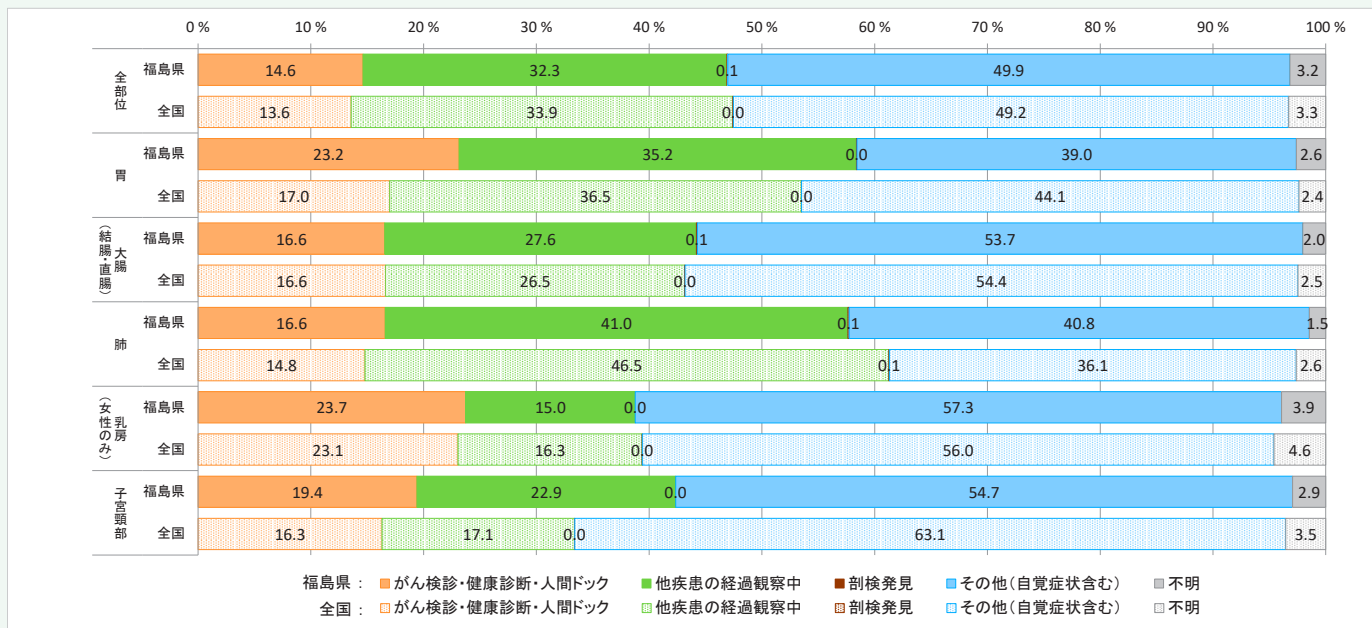
- 年齢階級別死亡率は、年齢とともに高くなる傾向にあり、60 歳代から男女差が出始め、男性が高くなる。
- 男性の肺がんは 60 歳代から増加率が高く、女性は乳がんで 40 歳代から増加がみられる。



■発見経緯

⇒どのような経緯で“がん”が発見されたかを示す。

- 『がん検診・健康診断・人間ドック』による発見割合は、部位別では胃、肺、乳房(女性のみ)、子宮頸部において全国より高い。



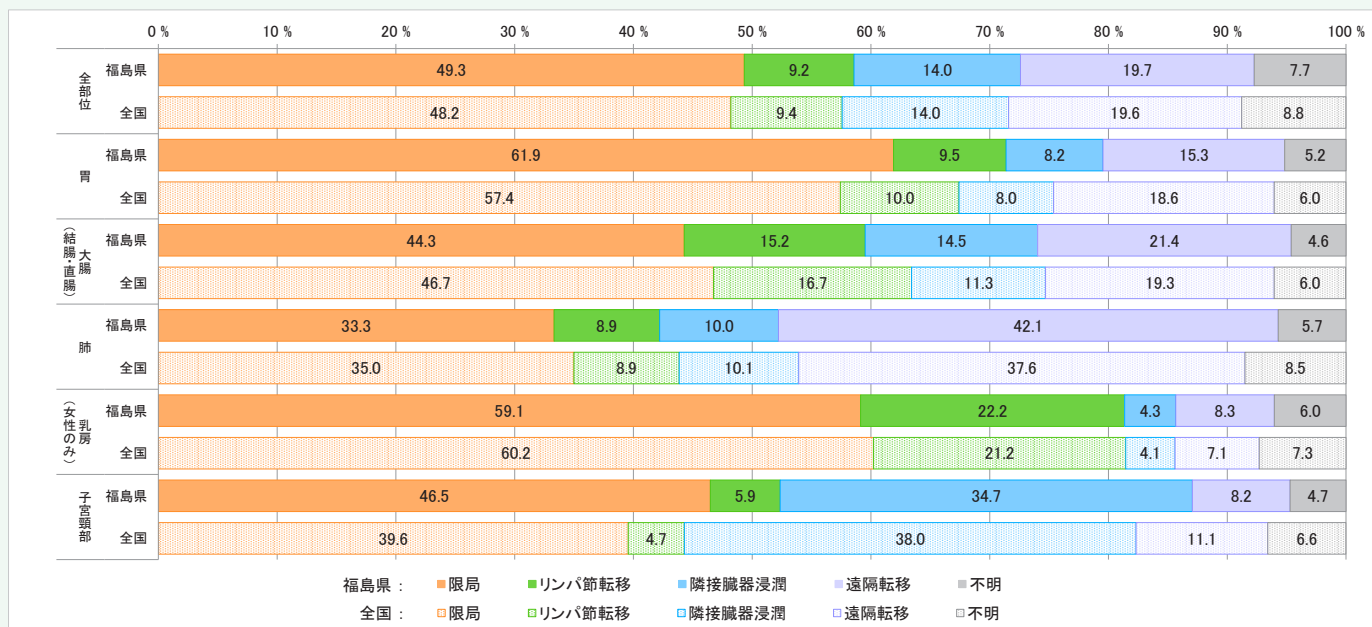
* 全国値: 厚生労働省「令和2年 全国がん登録罹患数・率 報告」より引用

■進展度

⇒“がん”と診断された時点での病巣の拡がり・進み具合を示す。

- 胃、乳房(女性のみ)で、限局であった割合が50%以上であった。

- 肺は、診断時に遠隔転移の割合が多い。



* 全国値: 厚生労働省「令和2年 全国がん登録罹患数・率 報告」より引用

- ・限局 … がんが原発臓器に限局している、とどまっているもの。
- ・リンパ節転移 … 原発臓器の所属リンパ節への転移を伴うが、隣接臓器への浸潤がないもの。
- ・隣接臓器浸潤 … 隣接する臓器に直接浸潤しているが、遠隔転移がないもの。
- ・遠隔転移 … 遠隔臓器、遠隔リンパ節などに転移・浸潤があるもの。

(参考) 2020 年 都道府県別がん罹患年齢調整罹患率（人口 10 万対）〔男女計〕

* 厚生労働省「令和 2 年 全国がん登録 罹患数・率 報告」より引用

- 本県の年齢調整罹患率(全部位)は全国値よりも高く、都道府県別では 14 番目である。
- 胃、大腸(結腸・直腸)、子宮頸部は全国値よりも高く、都道府県別では、子宮頸部は 4 番目、胃は 5 番目、大腸(結腸・直腸)は 7 番目である。
- 乳房(女性のみ)、肺は全国値よりも低かった。

